

グループ①

①検討課題

キャリアパスの取り方がわからない

いつ働き方・意識を変えるべきかわからない

自分が1 研究者として自立していけるかわからない

②課題の洗い出し、実例など

人によってキャリアパスが違う、そのため相談しても意見が異なる

自分の能力を伸ばすために 100%注ぐ段階はいつまでか

自分にアイデアの発想力やそれを実現する力があるかわからない

③改善策の提案

まわりに相談する

同じキャリアの先輩や同期を探す、関係性は広がるので今後につながる可能性がある

自分がどういう人間かの証明となるため業績はあったほうが良い

可能性を広く持つ（分野の変更、アカデミアや企業以外の選択肢）

ライフステージに合わせたベストな選択を行う意識が必要

苦戦した時の克服法は人を見て学ぶ

やっていけるかどうか分かるタイミングが来るまで頑張る

④まとめ、感想、次回のフォーラムに向けた提案

いろんな人のキャリアパスや経験の話を聞いて、ネットワークを広げるのが良いのではないか

病院やアカデミアで活躍された方の話を聞けて為になった

グループ②

①検討課題

女性研究者としてのキャリアパスについて

②課題の洗い出し、実例など

博士課程に進学するにあたってライフバランスとの兼ね合いが難しい

アカデミアでのキャリアは、時間の融通が付きやすいのか？

製薬会社にも興味があるが、現在の職場のような理解が得られるのかどうかは不安に感じる

③改善策の提案

上司の理解とパートナーの理解が必要と感じる

・博士課程の間に、妊娠・出産をした経験がある。どうしても生物学的な時間制限があるため、ワークライフバランスを博士課程進学前から、パートナーとともに考えて予定を立てていた

・4人の子育ての経験がある上司だったので、とても理解してくださった

・「子供を理由に研究室を休んではならない、社会は母が子供をみるべき」という固定観念があり、子供が発熱したことは心細く感じたが、直属のPIからの「細くてもいいから長く続けなさい」というアドバイスに救われた

・留学先では、朝5時から研究する組と昼は保育園、夕方から研究する組に分かれて、楽しんで子育てをした。留学先のPIは、子供が幸せになることが一番と話していた

・研究している母親もハッピーではないと、子供もハッピーにはならない

・いろいろな人に助けられた記憶がある

・育児中には研究室に娘さんを連れてきて、一緒に実験したりした

④まとめ、感想、次回のフォーラムに向けた提案

自分の意識改革、上司の理解が大切

(母である自分が) 仕事をしていてごめんね、ではなく、自分のしたいことができて幸せだと考えたほうがいい

グループ③

①検討課題 将来へのキャリアへの不安
②課題の洗い出し、実例など 研究者のポストを取るのが難しい、どのような人生の進め方をするか？ 生活を維持できるか不安、今後どうなっていくか分からない 研究者として頑張りたい気持ちはあるが、短期の契約で、「業績」、「人間関係」などなど不安を抱える 研究者の人生と家庭の維持は可能か
③改善策の提案 まずはやりたいことを明確して、そこから選択肢を取る 大学や国立研究機関に拘らない。1 箇所に落ち着く必要はない そもそもどこも安定は無い、という現実を認識（会社でも大学でも） 研究者になれなくてもいいやという気持ちで選択する
④まとめ、感想、次回のフォーラムに向けた提案 研究をやる意味（e.g. 人が知らないことを知りたい）を持って研究する モチベーションを持って、実行する 研究者も実は不安を持ってる（自分だけじゃない）

グループ④

①検討課題

将来の不安

ワークライフバランス 仕事と私生活（結婚・子育て）の両立

②課題の洗い出し、実例など

学位取得後ポスト探しなどで私生活を考える余裕がない

経済面が職を得るまで不安定

研究者は移動が多いのでパートナー選びとタイミングが難しい

ポストについてからも大学の雑務や研究実績を増やすために私生活に費やせる時間が限られる

③改善策の提案

博士を取るまではある程度しょうがないのではないか？

理解があるボスのもとで働く必要がある

パートナー選びの段階で、リモートで仕事できる人や資格がある人を中心に探す、というのも手か

利用できる経済的サポートを最大限に活用する

④まとめ、感想、次回のフォーラムに向けた提案

自分がどう生きたいか（そもそも博士を取ることが自分にとって幸せなのか）をしっかりと考えていく必要がある

グループ⑤

①検討課題

企業に進むか、アカデミアで研究するか？

②課題の洗い出し、実例など

- ・アカデミアの労働環境が企業より厳しい？
- ・博士取得後に製薬に行った理由：アカデミアに残りたかったが 博士 2 年で内定をもらいに行く必要があった
- ・最近では論文アクセプトなしで学位取得・卒業できる
- ・企業からアカデミアにも戻る人も：企業では個人の自由度は低いのでアカデミアに戻りたくなる
- ・自分の頑張りだけでどうしようもないところもある：経済的に安定することを優先するか（ライフワークバランス）、勇気を持って挑戦を続けるか
→ 10 年ルールなどを考えると不安になる
- ・企業はコンプライアンス遵守を重視、社会的な信用があるのでローンも組める
- ・90 年代...2000 年代...世代ごとにどんどん変わってきている → 新世代がまた上に立ち、社会が変わっていく
- ・将来どうなるかあんまり考えなかった → やりたいようにやる重要性

③改善策の提案

- ・アカデミア→企業→アカデミアなど、色々なタイプの実際の具体例・経験談を集める
→書籍化や講演などで発信してはどうか
- ・多くの情報が溢れている時代に、その情報をもとにポジティブに捉えることを教える・伝える
→"前向きな" 情報共有と進路選択、その後の発信
- ・やりたいようにやることを重視する

④まとめ、感想、次回のフォーラムに向けた提案